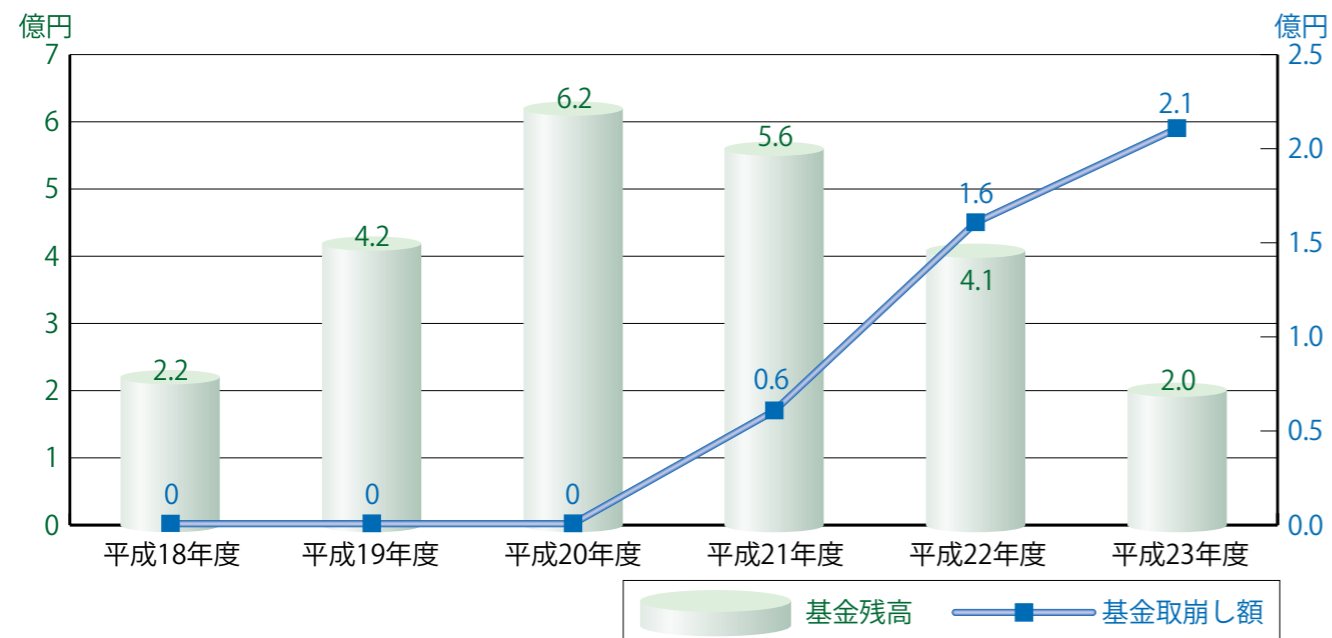


### ③ 基金を取り崩しての事業運営

平成21年度から単年度収支で赤字となったため基金の取り崩しを行いました。平成23年度は約2億円の取り崩しを予定していますが、給付の状況によっては取り崩し額を増やす必要があり、厳しい運営状況となっています。



### ④ 介護保険料の引き上げも

第4期(平成21年度～平成23年度)は、赤字部分に基金や特例交付金を充てたため、介護保険料を低く抑えることができました。しかしながら、第5期(平成24年度～平成26年度)は基金が激減する見込みのため、保険料に充てられる額は限られており、保険料の引き上げは避けられない状況です。

### ⑤ 介護保険料の引き上げを抑えるためにも

**給付が増えると介護保険料も上がります。**

介護保険料は3年間の給付費の総額を見込んで決定します。日ごろから介護予防に努めましょう。

**介護予防事業に取り組んで高齢者を元気に過しましょう。**

市では、何歳になっても生き生きと暮らしていけるように、次のような介護予防事業を実施しています。

#### ○元気づくり教室

介護認定を受けていない65歳以上の方へ、5月ごろに送付している基本チェックリスト調査で、低下がみられた人に対して、一人一人のプランを作成し、運動を中心に口腔(こうくう)の働きや栄養について学ぶ教室です。各地域の保健センターや市内のスポーツクラブで開催します。

#### ○訪問型の事業

基本チェックリスト調査で低下がみられた人で、元気づくり教室に参加されない人の所に保健師・看護師が訪問します。

#### ○わっはっは体操

地域の介護予防事業リーダーが自治会などで運動・栄養・口腔(こうくう)・認知症予防の教室を開催します。

#### ○楽しく元気づくり教室

若いときになじんだ趣味の活動を生かして仲間づくりをしながら、脳の活性化を図り生きがい作りをします。高齢者クラブやNPOなどが開催します。(例：陶芸、麻雀、絵手紙、手品、リハビリダンスなど)

\*他にも、にこにこ教室、認知症予防講演会、介護予防ボランティア事業などを行っています。

**【問合せ先】**＝本庁高齢・介護福祉課 介護給付グループ ☎(23)5111(内線2621)

\*介護予防事業については…市民健康課 健康指導東部グループ(川内保健センター内) ☎(22)8811

## 薩摩川内市介護保険事業の運営にご理解とご協力をお願いします

介護保険制度は、高齢者が要介護状態になっても、尊厳をもって、自立した生活を営むことができるよう、高齢者を社会全体で支える仕組みとして、平成12年にスタートしました。

当初、本市の介護保険事業は順調に運営されていましたが、高齢化の進行、特に75歳以上の高齢者の増加に伴い、要介護認定者、介護保険サービス利用者が年々増加したため、介護保険給付費が増加し、平成21年度から単年度収支が赤字となり、厳しい運営状況となっています。

このため、平成24年度から新たに始まる第5期介護保険事業計画(平成24年度～平成26年度)では、保険料の大幅な引き上げは避けられない状況です。

限られた財源で健全な運営ができるように、皆さまのご理解とご協力をお願いします。



### ① 本市の高齢者の約20%が要介護認定者

第1号被保険者(65歳以上の方)の数は、おおむね横ばいで推移していますが、その中でも要介護状態になりやすい75歳以上の高齢者については年々増加しており、認定者数についても年々増加しています。

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
第1号被保険者数	27,220	27,301	27,271	26,981	
内訳	65歳～75歳未満	11,682	11,555	11,336	10,932
	75歳以上	15,538	15,746	15,935	16,049
第1号被保険者認定者数	5,560	5,806	5,880	6,071	
第1号被保険者の認定率	20.4%	21.3%	21.6%	22.5%	

\*各年度の3月31日現在の人数と認定率です。

### ② 介護給付費の増加

要介護認定者の増加に伴い、給付費は毎年増加しており、被保険者1人当たりの給付費も年平均で5.3%程度増加しています。

